

共同プレスリリース



立川市所在の2つの施設による、初めての共同企画展開催！
源氏物語の新世界
—明け暮れ書き読みいとなみおはす—



会期 2025年1月11日（土）～3月16日（日）

会場・展覧会についてのお問合せ

たましん美術館

東京都立川市緑町3-4

E-mail: bijutsu@tamashin.or.jp

TEL: 042-526-7788

<https://www.tamashinmuseum.org/>

展示資料等についてのお問合せ

国文学研究資料館

E-mail: jigyoku@nijl.ac.jp

TEL: 050-5533-2984

<https://www.nijl.ac.jp>

展覧会内容

紫式部によって執筆された『源氏物語』は、雅な王朝文化華やかなりし頃の宮廷貴族の人間模様、感情の交錯を描く物語として、千年の時を経てなお色あせぬ輝きを放っています。今日にいたるまでに『源氏物語』は、写本として書き継がれ、あるいは版本として刊行され、そして翻案作品が次々と生み出されました。また、見て楽しむ絵画をはじめ、文学というジャンルを超えた幅広い分野での創作のモチーフにもなりました。古典でありながら、時代の移り変わりとともに自在にそのかたちを変え、新たな輝きの「場」を拓いてきた『源氏物語』。作品中では、登場人物である玉鬘が、物語に夢中になり「明け暮れ書き読みいとなみおはす」——つまり、朝から晩まで熱心に物語を書き写したり読みふけったりして過ごしたという情景が描かれますが、このことは『源氏物語』が時代を超えて多くの人々によって書かれ、読まれ、親しまれてきた歴史と重なります。

本展では、『源氏物語』がその強靱な生命力をもって歩んできた歴史を、国文学研究資料館の所蔵する写本や版本、絵入り本、画帖や絵巻、屏風や掛け軸などの貴重な資料とともにたどっていきます。また2名の若きアーティストが、1年以上をかけて国文学研究資料館の研究者と『源氏物語』を題材としたワークショップを重ね、その中でそれぞれがインスピレーションを受け創作した美術作品を展示します。会期中には、国文学研究資料館の研究者によるギャラリートークをはじめとした関連イベントも開催します。

様々な時代の要請にこたえ、人々の娯楽の対象や創造の源としてしなやかに変容を繰り返してきた『源氏物語』の姿をたどる本展が、今を生きる私たちそれぞれにとっての『源氏物語』を探るきっかけとなれば幸いです。

開催概要

- ・ 会場 たましん美術館(東京都立川市緑町3-4)
- ・ 会期 2025年1月11日(土)～3月16日(日)
- ・ 開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)
- ・ 休館日 月曜日(1月13日(月・祝)は開館し、翌14日(火)を休館、2月24日(月・休)は開館し、翌25日(火)を休館とする)
- ・ 入館料 一般500円、高校生・大学生300円

※次の該当者は無料 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方(ただし1人につき1人まで、障害者手帳アプリ「ミライロID」利用可能)、多摩らいふ倶楽部会員(本人とお連れの方1人まで)、シニア・スクエア会員(本人とお連れの方1人まで)

- ・ 展示総数 約40点
- ・ 主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館
公益財団法人たましん地域文化財団



『源氏物語絵屏風』(右隻) 国文学研究資料館

◆本展の見どころ

①『源氏物語』が広く人々に享受されてきた歴史を提示

テーマは、2024年NHKの大河ドラマでも話題となった、時代を超えて愛される『源氏物語』。

その登場人物の玉鬘が、朝から晩まで熱心に物語を書き写したり読みふけったりして過ごしたという情景が、本展覧会の副題になっています。今も続く人々を夢中にさせる世界観の魅力を、資料とともに読み解きます。

②たましん美術館と国文学研究資料館との、初の共同企画

2館の共催展である利点を十分に生かし、上質な展示空間を有するたましん美術館を会場に、国文学研究資料館の貴重な所蔵資料を展覧します。

③1年以上かけて行われた源氏物語を題材とするワークショップから生まれた、若手作家2人の創作

若手作家・芦川瑞季氏(版画)、成瀬拓己氏(絵画)が、源氏物語からインスピレーションを得て制作した美術作品を展示します。



『源氏物語歌合絵巻』(部分)
国文学研究資料館



国文学研究資料館外観

◆関連イベント

・トークイベント&ワークショップ「源氏とあそぶ。源氏をまとう。」

国文学研究資料館でのアーティスト・イン・レジデンス(AIR)プログラムで活動中の芦川瑞季氏、成瀬拓己氏、そして元AIR参加アーティストの染谷聡氏(美術家/漆芸)によるトークイベントを開催します。また、染谷氏による、古典籍の画像を使用したコラージュと漆を用いたオリジナル封筒づくりのワークショップも併せて開催します。古典と現代が交わる特別な体験を楽しむことができます。 ※要予約(定員15名)

開催日時: 1月31日(金)13時~16時15分 場所: 多摩信用金庫本店3階
たましん事業支援センター(Winセンター)

・ギャラリートーク

国文学研究資料館の研究者が、出品資料や展覧会の見どころについて解説します。 ※予約不要

開催日時: 2025年1月11日(土)、1月25日(土)、2月8日(土)、2月22日(土)
各回14時30分~15時 場所: たましん美術館展示室内



たましん美術館

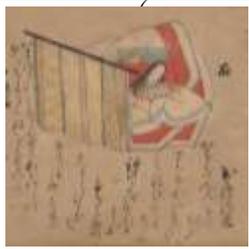
【たましん美術館 画像使用申込書】

FAX 042-577-5070 MAIL bijutsu@tamashin.or.jp

御社名★		ご担当者名★	
お電話番号★		ご住所	
メールアドレス★			
掲載紙／サイト名★			
発行／公開予定日			
ご要望			

※上部記入欄に必要事項をご記入いただき、下の一覧からご希望の画像にチェックをご記入の上、FAXまたはメール添付にてお申し込みください。（★は必須項目）
 ※ほかに画像のご希望がありましたらご要望欄にご記入ください。

「源氏物語の新世界」関連画像

			
□1 「垣間見」(『源氏物語 団扇画帖』部分) 国文学研究資料館蔵 (会期中場面替えあり)	□2 「玉鬘」(『源氏物語歌合 絵巻』部分) 国文学研究資料館蔵	□3 「紫式部」 (歌川豊国(三世)画『百人一首』部分) 国文学研究資料館蔵	□4 「明け暮れ書き読みいとなみおはす」(正徹本『源氏物語』部分) 国文学研究資料館蔵
			
□5 『源氏物語絵屏風』 (左隻) 国文学研究資料館蔵	□6 『源氏物語絵屏風』 (右隻) 国文学研究資料館蔵	□7 国文学研究資料館 外観	□8 たましん美術館 外観

- ・取材及び掲載については、必ず事前にお問い合わせください
- ・掲載にあたっては、正式名称と会期の表記をおこなってください（省略の場合は要相談）。
- ・画像を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を併記してください。
- ・掲載する電話番号は公益財団法人たましん地域文化財団042-574-1360でお願いします。
- ・掲載記事やデータのご提供をお願いいたします。

【画像提供 お問い合わせ先】

たましん美術館（公益財団法人たましん地域文化財団）
 〒190-8681 東京都立川市緑町3-4 Tel.042-526-7788

<https://www.tamashinmuseum.org/>

担当 村山（広報）、佐藤（企画）